

平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月5日

上場会社名 株式会社ダイケン 上場取引所 大
 コード番号 5900 URL http://www.daiken.ne.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤岡 洋一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 北脇 昭 (TEL) (06) 6392-5551
 四半期報告書提出予定日 平成24年10月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の業績 (平成24年3月1日～平成24年8月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	4,857	7.7	341	132.3	343	115.5	306	435.7
24年2月期第2四半期	4,511	0.1	147	△16.2	159	△13.5	57	25.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	52.17	—
24年2月期第2四半期	9.74	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第2四半期	12,422	10,101	81.3
24年2月期	12,723	9,871	77.6

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 10,101百万円 24年2月期 9,871百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	12.00	12.00
25年2月期	—	0.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の業績予想 (平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	5.1	800	33.1	770	26.9	470	33.1	79.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年2月期2Q	5,970,480株	24年2月期	5,970,480株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

25年2月期2Q	95,016株	24年2月期	94,952株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年2月期2Q	5,875,501株	24年2月期2Q	5,876,227株
----------	------------	----------	------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災における復興需要や、政府によるエコカー購入支援、フラット35Sや住宅エコポイント等により、景気は緩やかに回復しつつあるものの、長引く円高や海外景気の下振れ懸念等により、雇用不安や電力問題等もあり先行き不透明な状況が続いております。

建築金物業界におきましては、設備投資の中でも住宅投資では被災地の復旧需要をはじめ、新設住宅着工戸数が回復の動きを見せ、今後は本格的な復興住宅の再建による増加や消費増税による駆け込み需要が予想され、堅調に推移していくものと予想されます。

このような中、当社におきましては、販売先へ緊密な営業活動を進め、展示会等への出展を図り販売の回復に取り組んでまいりました。また、製造経費や販売管理費の削減について、継続的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高につきましては、48億57百万円(前年同期比7.7%増)となりました。利益面では製造経費や販売管理費の削減に取り組み、営業利益は3億41百万円(前年同期比132.3%増)、経常利益は3億43百万円(前年同期比115.5%増)となりました。四半期純利益は、固定資産売却益1億30百万円などの特別利益を計上したため3億6百万円(前年同期比435.7%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(セグメント売上高)：当第2四半期累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

セグメントの名称	金額(千円)	前年同期比(%)	構成比(%)
建築関連製品	4,782,258	107.8	98.4
不動産賃貸	75,369	98.1	1.6
合計	4,857,628	107.7	100.0

(建築関連製品)

建築関連製品につきましては、建築金物及びエクステリア等の主力製品では、一戸建て及び民間賃貸向け集合住宅の建築が堅調に推移しております。物置関連は震災後の備蓄に対する意識の変化により需要が増加しております。自転車置場関連はマンション及びプレハブ系の集合住宅の着工が堅調に推移し増加いたしました。また、中小のビル向けが中心のアルミ製庇や目隠しパネルなどの納期や現場施工の対応に優れた製品が堅調に推移いたしました。

新築着工戸数は今年に入り増加傾向にあるため、需要に対応できる生産体制に留意するほか、商材開発及び営業活動の強化に努めてまいりました。その結果、売上高は47億82百万円と前年同四半期に比べ3億47百万円(7.8%)の増収、セグメント利益(営業利益)は4億51百万円と前年同四半期に比べ1億83百万円(68.6%)の増益となりました。

(不動産賃貸)

不動産賃貸関連につきましては、法人向けテナントは安定した収益を確保するものの、収益の主力でありますワンルームマンションについては、景気の低迷による法人需要の減少や、プレハブ系賃貸住宅の増加に伴う入居者の獲得で厳しい状況が続いております。その結果、売上高は75百万円と前年同四半期に比べ1百万円(1.9%)の減収、セグメント利益(営業利益)は35百万円と前年同四半期と比べ0百万円(0.2%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の変動状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ3億円減少し、124億22百万円となりました。これは、旧福岡営業所の売却などに伴い有形固定資産が1億95百万円減少したことや保険解約などに伴い保険積立金が1億27百万円減少したことが主因であります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ5億30百万円減少し、23億21百万円となりました。これは、仕入高の減少の伴い仕入債務が1億89百万円減少し、役員退職金の支払などに伴い役員退職慰労引当金が1億62百万円減少し、前事業年度に係る法人税等の支払などにより未払法人税等が1億24百万円減少したことが主因であります。

なお、純資産は、前事業年度末に比べ2億29百万円増加し、101億1百万円となりました。これは、利益剰余金が、四半期純利益により3億6百万円増加したものの、前事業年度に係る配当金の支払いにより70百万円減少したことが主因であります。この結果、自己資本比率は81.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益5億22百万円、売上債権の減少5億17百万円、法人税等の支払額2億38百万円、引当金の減少2億9百万円などにより、前年同四半期累計期間に比べて68百万円減少し、3億62百万円の収入となりました。

第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、旧福岡営業所等の有形固定資産売却による収入2億50百万円、保険積立金の解約による収入1億82百万円などにより、3億70百万円の収入(前年同四半期累計期間は1億36百万円の支出)となりました。

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払70百万円などにより、前年同四半期累計期間に比べて3億円支出が減少し、70百万円の支出となりました。

これらの結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ6億62百万円増加し、14億57百万円となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

現段階におきまして、平成24年9月28日に公表しております業績予想に変更はありません。

2. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,529,975	2,192,548
受取手形	2,045,948	1,755,933
売掛金	1,956,471	1,729,293
商品	6,631	2,748
製品	607,490	539,065
原材料	301,606	303,123
仕掛品	164,010	179,019
貯蔵品	24,757	36,119
繰延税金資産	117,878	94,121
その他	14,880	30,553
貸倒引当金	△5,602	△1,046
流動資産合計	6,764,048	6,861,481
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,379,462	2,310,253
機械及び装置(純額)	224,366	198,290
土地	2,184,844	2,080,553
その他(純額)	123,742	128,169
有形固定資産合計	4,912,415	4,717,267
無形固定資産		
	58,725	66,776
投資その他の資産		
投資有価証券	310,903	312,307
関係会社株式	20,000	20,000
保険積立金	494,560	366,803
破産更生債権等	25	25
繰延税金資産	59,084	—
その他	112,663	86,648
貸倒引当金	△9,119	△8,995
投資その他の資産合計	988,118	776,789
固定資産合計	5,959,259	5,560,833
資産合計	12,723,308	12,422,315

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	449,322	359,498
買掛金	1,308,275	1,208,252
未払金	147,592	137,214
未払法人税等	251,703	126,883
未払費用	126,762	120,331
賞与引当金	180,000	152,619
役員賞与引当金	25,000	10,000
その他	70,131	67,735
流動負債合計	2,558,787	2,182,534
固定負債		
役員退職慰労引当金	227,825	65,775
繰延税金負債	—	10,238
その他	64,981	62,511
固定負債合計	292,806	138,525
負債合計	2,851,594	2,321,059
純資産の部		
株主資本		
資本金	481,524	481,524
資本剰余金	250,398	250,398
利益剰余金	9,168,938	9,404,963
自己株式	△54,180	△54,205
株主資本合計	9,846,680	10,082,680
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,033	18,575
評価・換算差額等合計	25,033	18,575
純資産合計	9,871,713	10,101,255
負債純資産合計	12,723,308	12,422,315

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	4,511,918	4,857,628
売上原価	3,016,902	3,155,642
売上総利益	1,495,016	1,701,986
販売費及び一般管理費	1,347,890	1,360,186
営業利益	147,126	341,799
営業外収益		
受取利息	136	124
受取配当金	8,867	11,291
助成金収入	10,905	—
その他	10,012	6,406
営業外収益合計	29,922	17,822
営業外費用		
支払利息	650	8
売上割引	10,854	10,647
休止固定資産減価償却費	4,127	3,570
その他	2,220	2,267
営業外費用合計	17,852	16,493
経常利益	159,196	343,127
特別利益		
固定資産売却益	—	130,787
保険解約益	—	51,220
特別利益合計	—	182,008
特別損失		
投資有価証券評価損	43,045	—
固定資産除却損	17,607	—
減損損失	—	2,007
その他	617	300
特別損失合計	61,270	2,307
税引前四半期純利益	97,926	522,828
法人税、住民税及び事業税	18,569	119,662
法人税等調整額	22,135	96,634
法人税等合計	40,704	216,297
四半期純利益	57,221	306,531

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	97,926	522,828
減価償却費	157,433	139,863
投資有価証券評価損益(△は益)	43,045	—
固定資産売却損益(△は益)	—	△130,787
保険解約損益(△は益)	—	△51,220
減損損失	—	2,007
引当金の増減額(△は減少)	△41,076	△209,110
受取利息及び受取配当金	△9,004	△11,415
支払利息	650	8
売上債権の増減額(△は増加)	546,583	517,776
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,672	44,420
仕入債務の増減額(△は減少)	△144,715	△187,163
その他の資産の増減額(△は増加)	△19,859	△18,126
その他の負債の増減額(△は減少)	△31,977	△31,877
未払消費税等の増減額(△は減少)	903	2,036
その他	18,774	467
小計	612,011	589,708
利息及び配当金の受取額	9,006	11,415
利息の支払額	△630	△8
法人税等の支払額	△189,414	△238,562
営業活動によるキャッシュ・フロー	430,973	362,552
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△119,955	△60,414
有形固定資産の売却による収入	—	250,843
有形固定資産の除却による支出	△6,620	—
無形固定資産の取得による支出	—	△12,829
定期預金の預入による支出	△735,000	△735,000
定期預金の払戻による収入	735,000	735,000
保険積立金の解約による収入	—	182,418
その他	△10,339	10,681
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136,914	370,700
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	—
長期借入金の返済による支出	—	—
自己株式の取得による支出	△186	△24
配当金の支払額	△70,190	△70,317
財務活動によるキャッシュ・フロー	△370,376	△70,342
現金及び現金同等物に係る換算差額	△293	△336
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△76,610	662,573
現金及び現金同等物の期首残高	879,810	794,975
現金及び現金同等物の四半期末残高	803,200	1,457,548

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額(注) 2
	建築関連 製品	不動産 賃貸	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,435,113	76,805	4,511,918	—	4,511,918
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,435,113	76,805	4,511,918	—	4,511,918
セグメント利益	267,615	35,134	302,749	△155,623	147,126

(注) 1. セグメント利益の調整額△155,623千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額(注) 2
	建築関連 製品	不動産 賃貸	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,782,258	75,369	4,857,628	—	4,857,628
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,782,258	75,369	4,857,628	—	4,857,628
セグメント利益	451,213	35,061	486,275	△144,476	341,799

(注) 1. セグメント利益の調整額△144,476千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期会計期間から、セグメント利益の算定に用いる全社費用の配賦方法について、セグメントの事業をより適正に評価管理するための見直しを行っております。

なお、前第2四半期累計期間に係る報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、変更後の方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	建築関連 製品	不動産 賃貸	合計		
減損損失	—	—	—	2,007	2,007

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

該当事項はありません。